

活動認められ 全国表彰

全国少年消防クラブ表彰 食アメニティコンテスト

3月、町に大きな表彰のニュースが飛び込んできました。一つは全国少年消防クラブ運営指導協議会（会長・消防庁長官）が表彰する「優良な少年消防クラブ」に小屋瀬少年消防クラブ。もう一つは農林水産省主催の「第19回食アメニティコンテスト」で「みち草の驛」が農林水産省農村振興局長賞を受賞。二つの全国表彰は、町のこの一年に明るい希望の灯をともしました。

「第19回食アメニティコンテスト」で「農林水産省農村振興局長賞」を受賞



えき みち草の驛

●みち草の驛／平成9年3月、江刈川地区に産直と農村レストランとして開店。6人で始めて現在は60人と5団体が産直への出荷から地域の伝統食の加工、出張販売までこなす。

食の魅力全国へ発信

江刈川地区で産直と農村レストランを経営する「みち草の驛（高家章子代表）」は、農林水産省などが主催する第19回食アメニティコンテストで農林水産大臣賞に次ぐ農村振興局長賞を受賞しました。店に出荷する人、加工に携わる人、販売に出掛ける人など六十人を超える会員らは受賞を喜び、今後の活動にますます張り切っています。

食アメニティコンテストは、農山漁村地域の女性グループなどが特産物を活用した起業活動で、地域づくりに貢献している事例を表彰するものです。

今なお三基の水車が残り「水車の里」とも呼ばれる江刈川地区で、農家の女性らが知恵を出し合いながら続けてきた民間版・道の駅「みち草の驛」は開店から十三年が過ぎました。

「山間高冷地の特性を生かして栽培しているソバなど雑穀を生かしたい、水車小屋も保存したい」「特色ある郷土食を多くの人に届けたい」「地域内に働く場所を作りたい」

高家代表のそんな思いに賛同した地域の女性らが話し合いを重ね平成九年三月、待ちに待った産直・農村レストランは開店しました。開店からしばらくの間、交通量の少ない江刈川では来店客もほとんどない状況が続きました。そこで考えたのが出張販売。試食用の団子や豆すつとぎを持って盛岡市内に売り込みに行くことと五カ月。やっとのことでスーパードでの販売にこぎ着けたのです。

平成十年十月には店に加工場も併設し、

菓子製造業の許可も取得。地区の農業者やお年寄りの出荷意欲がめきめきと高まり、会員も増えました。

店舗には会員らが持ち寄った新鮮な野菜や山菜、キノコ、雑穀などが並び、レストランでは「めんくいセット」や「ひぼがはっとう」「ひつつみ」などが人気。また、「でんがくもち」や「団子」など加工品は早朝三時から、会員のお母さんたちによって作られ、移動販売車に積み込まれ町外のイベント会場やスーパーに向かいます。

こうして山村特有の文化・食材・人材などの地域資源を生かし、地域に伝わる食文化を都市に発信し、交流も深めています。

表彰式は三月十日、東京都の有楽町朝日ホールで行われ、高家代表と開店当初から一緒に店を切り盛りしてきた「食の匠」越田セン子さん、山本良子さんの三人が出席。「二人一人の苦労が報われた。高齢者や地域の女性たちがもともとと輝くように運営したい」と高家代表は満面の笑みを浮かべました。

「優良な少年消防クラブ」表彰
少年少女消防クラブフレンドシップ2010で



小屋瀬少年消防クラブ

●小屋瀬少年消防クラブ
昭和57年5月1日結成。3月31日現在のクラブ員は小屋瀬小学校3年生以上児童と同中学校生徒1人を合わせて26人。軽可搬ポンプ操法訓練や植林を通じて山火事防止活動などを展開。

《少年消防クラブって?》
防火・防災思想の普及を図ることを目的に少年少女で結成された自主的な防災組織。全国で5,095クラブ、クラブ員は約43万人（平成21年5月1日現在）。

小屋瀬少年消防クラブは、昭和五十二年六月から葛巻地区森林愛護少年団として活動していた小屋瀬小学校と同中学校の児童生徒と育成会のメンバーで昭和五十七年五月に結成されました。

防火教室や消防署の見学などで、消防の仕事や火災予防について学ぶほか、国道の清掃奉仕、防火ポスターの作成などに取り組んでいます。また、春の消防演習では、多くの来賓や町民が見守る中、軽可搬ポンプ操法を披露したり分列行進に参加するなどして火災予防を訴えています。過去には消防団員顔負けの小隊訓練も実施。団体活動の規律も学んで、クラブが目標とする「立派な社会人になるための活動」は着実に実を結んでいます。

隊長の鈴木貴裕君（小屋瀬小六年）受賞時）は「活動が全国に認められてうれしい。後輩たちにもずっと続けて欲しい」と活動の発展に期待を込めました。

クラブ結成から現在まで育成会長を務める土谷育造さん（77・元木）は「団体活動で身に付いた規律やチームワークは

防火の取り組み万端

小屋瀬少年消防クラブ（クラブ員二十六人）は、少年少女消防クラブフレンドシップ2010において「優良な少年消防クラブ」として表彰されました。「小屋瀬地区から火災をなくそう」と率先して防火活動に取り組んで二十七年。大きな勳章を励みにクラブ員は「地域のために頑張るぞ!」と意気込みます。

大人になってからも役に立っています」と多くのOBが指導者として関わってくれていることを喜びます。

同クラブは、平成五年に岩手県知事感謝状を受賞。隊員たちは消防のほか森林愛護や防犯少年隊など多方面での地域活動に活躍しています。

表彰式は三月二十六日、東京都の総務省消防庁で行われ、卒業式を終えた六年生全員の六人と指導者、保護者など十四人が出席し、全国の仲間と交流しました。二十一年度は全国で十九団体が「特に優良な少年消防クラブ」、小屋瀬少年消防クラブなど三十七団体が「優良な少年消防クラブ」として表彰されました。



表彰を受賞後、総務省前で喜びをかみしめる隊員

